

新たなサービス「タクティールケア」を取り入れました。



タクティールケアの有効性を裏付ける科学的根拠として、オキシトシンというホルモンの分泌が上げられます。オキシトシンは、「安静ホルモン」とも呼ばれ、不安感やストレスの軽減に大きく関わっていることが、明らかになっています。

社協 ニュース

No. **64**

《発行》
平成27年7月1日

《編集》
七飯町社会福祉協議会

七飯町本町4丁目8-1
七飯町地域センター内
TEL 65-2067

ホームページ
<http://www.nanae-shakyo.com/>

利用者さんや入居者さんに
心地のよいひとときを

七飯町社会福祉協議会では

タクティールケア認定資格（日本スウェーデン福祉研究所公認）を取得したスタッフを配置して、訪問介護やデイサービスの利用者さんグループホームの入居者さんに癒しと安心感を提供しています。

タクティールケアは揉んだり指圧したりするのではなく、手を使って10分から15分間程度、相手の背中や手足を柔らかく包み込むように触れるのがタクティールケアの手法です。

心地よさや安心感をもたらす、その成果はケアを受けた人の表情から測ることが出来ます。

認定資格を取得したスタッフは「私はあなたが大好きですと心と思いを込めて行うことが大切」と自覚して行なっています。

【利用者さんの声】

足のタクティールケアを初めて受けた時、とても穏やかな、心から癒された気持ちになりました。

りました。

冷たい足が温かくなり、その日はよく眠ることができました。

手の節々が痛かったけど、タクティールケアをしてもらったら痛みが和らぎました。手のひらに触れられるだけで、薬を飲むわけでもないのに不思議に思います。



【スタッフの声】

不安な気持ちや表情が、ケア中に少しずつ和らいでいくのがわかると同時に、自分の気持ちもとても穏やかになっています。手のひらの暖かさがこんなにも素晴らしいと思いませんでした。自分が優しい気持ちになりました。

入所者と自分が共に時間を過ごすことで、信頼性、親密性が高まりました。タクティールケアによって、触れられた人だけでなく、触れている人にも穏やかさと安心感が得られることを感じました。

平成26年度

事業報告
〈総括〉

平成26年度は、社会福祉協議会の根幹事業である地域福祉の推進を「七飯町要援護者支え合い事業」と新たな「ボランティアポイント事業」を中心に、町内会、行政をはじめ各種関係機関と連携を図り、地域福祉理念の共有と普及・ボランティアの発掘、育成、定着に努めてきました。

特に「要援護者支え合い事業」は、年々活動する町内会が増え、昨年度は51町内会から申請をいただき、幅広くきめ細やかな活動が広がっています。

中でも、町内会による要援護者宅の訪問活動は30町内会、隣近所の見守り活動は、38町内会が取り組んでおり、地域の繋がりが相談体制、災害時の安否確認等、いつでも支援できる仕組みが徐々に浸透しつつあります。

また、全国的な問題である特殊詐欺や携帯電話によるトラブルなど、現在の生活課題に対応するために昨年12月には「地域と共を考える研修会」を開催し150名以上の参加をいただきました。

今後も地域に密着した課題等を地域の皆さまと一緒に考えていくような研修会を開催したいと思います。

介護部門は、年々認知症や精神疾患等の困難ケースが増えておりますが、各課長が中心となり関係機関と十分に連携を図りながら、これまでの知識と経験で柔軟に対応することができました。

また、それぞれの職員が各種研修会への積極的参加や自主努力を行い、毎年介護福祉士の職員が増えております。社協全職員71名のうち介護福祉士取得者は38名となり、個人としても組織としても質の向上をめざしました。

各部署が利用者の立場に立った「ぬくもりのあるサービス」の提供を心がけ、日々業務にあたりました。

平成27年度

事業計画

少子・高齢社会の進展に伴い、地域社会や家庭機能の変化、さらに経済情勢や雇用環境の厳しさなどから、地域の希薄化による社会的孤立、経済困窮、虐待等権利擁護など深刻な福祉課題、生活課題が引き続き顕在化しており、住民相互の繋がりと支援体制づくりが一層求められており、社会福祉協議会の果たす役割は益々重要となっております。

同時に、社会保障制度改革及び地方分権改革が進められる中、社会福祉法人制度の見直しの議論が進められ、社会福祉法人としての経営体制の充実や地域公益活動の推進、運営の透明性の確保等に取り組まなければなりません。そのため社会福祉協議会は他の社会福祉法人や施設と一体となり、より一層、地域課題の解決に向け協働的な取り組みを進めることが期待されています。

社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、地域福祉の根幹である住民相互の支え合い活動から生

平成26年度 決算報告《法人全体》

(単位：千円)

科 目		決算額
経常活動による収支		
収 入	会費収入	4,759
	寄付金収入	482
	分担金収入	4,000
	経常経費補助金収入	19,593
	助成金収入	723
	受託金収入	19,386
	事業収入	205
	介護保険収入	184,897
	共同募金配分金収入	2,805
	雑収入	823
	会計単位間繰入金収入	34,918
	経理区分間繰入金収入	200
	経常収入計①	272,791
支 出	人件費支出	165,159
	事務費支出	7,103
	事業費支出	35,992
	共同募金配分金支出	1,710
	助成金支出	10,962
	分担金支出	4,000
	負担金支出	713
	借入金利息支出	300
	会計単位間繰入金支出	34,918
	経理区分間繰入金支出	200
	経常支出計②	261,057
経常活動資金収支差額 ③＝①－②		11,734

科 目		決算額
経常活動による収支		
収入	施設整備等補助金収入④	4,805
支出	固定資産取得支出及び繰出支出⑤	8,823
施設整備等資金収支差額 ⑥＝④－⑤		▲ 4,018
財務活動による収支		
収入	積立預金取崩収入⑦	17,223
支出	施設整備資金償還金⑧	6,600
	積立預金積立支出⑨	16,540
財務活動資金収支差額 ⑩＝⑦－⑧－⑨		▲ 5,917
当期資金収支差額 ③＋⑥＋⑩		1,799

平成 27 年度 予 算 《法人全体》

(単位：千円)

科 目		予算額
経常活動による収支		
収 入	会費収入	5,000
	寄付金収入	652
	分担金収入	4,100
	経常経費補助金収入	14,619
	助成金収入	273
	受託金収入	19,914
	事業収入	350
	介護保険収入	191,640
	共同募金配分金収入	2,715
	雑収入	1,484
支 出	会計単位間繰入金収入	9,722
	経常収入計 ①	250,469
	人件費支出	177,325
	事務費支出	10,265
	事業費支出	43,191
	共同募金配分金支出	1,380
	助成金支出	7,443
	分担金支出	4,100
	負担金支出	897
	借入金利息支出	106
	会計単位間繰入金支出	13,437
	経理区分間繰入金支出	
	経常支出計 ②	258,144
	経常活動資金収支差額 ③=①-②	▲ 7,675

科 目		予算額
経常活動による収支		
支出	固定資産取得支出及び繰出支出	792
	施設整備等資金収支差額 ④	▲ 792
財務活動による収支		
収入	積立預金取崩収入	12,467
支出	施設整備資金償還金	4,000
	財務活動資金収支差額⑤	8,467
当期資金収支差額 ③+④+⑤		0



会長就任挨拶

会長 大 竹 幸次郎

この度の役員改選に伴い、理事の皆様方のご推奨とご賛同を賜り、8期目となる会長の職を拝命いたしました。

微力ではございますが、地域福祉の充実と発展のため誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

平成 27 年度は、生活困窮者自立支援法並びに改正介護保険法の本格的実施であります。

改正介護保険法においては、訪問介護、通所介護の予防給付を平成 29 年度までに地域支援事業に移行されることから、地域で支える仕組みづくり、支援体制を構築していかなければなりません。

こうした制度変革に対応すべく、役職員一丸となって地域福祉の推進に努めてまいりますので、温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

生活課題を発見し、相談、支援につなげる機能を強化する必要があります。

また、平成 27 年度は生活困窮者自立支援制度の本格実施並びに介護保険制度見直しによる新地域支援事業などの新たな制度・施策を進める年でもあります。

生活困窮者自立支援制度については昨年度より国のモデル事業として町内に「おしま H O T かないセンター」が開設されたことで、相談体制の連携・強化を図ります。

介護保険制度改正については、介護予防給付の訪問介護、通所介護を地域支援事業に移行、そして多様な介護予防・生活支援サービ

スの拡大を図ることが盛り込まれました。したがって、今回の改正は介護事業だけではなく、社協が使命として推進してきた「地域福祉」を、行政をはじめとする地域・関係機関と連携、協働のもと、社協組織体制の整備及び職員体制の構築を行い、的確な対応と取組に向け柔軟に対応します。

七飯町社会福祉協議会は、法人部門及び介護部門と相互の連携を十分に図り、地域に密着した社協らしい事業を展開しながら、「信頼され期待される七飯社協」をめざします。

理事・評議員のご紹介

平成 27 年 3 月 20 日の理事会・評議員会、平成 27 年 5 月 27 日の評議員会において役員改選が行われ、次期役員が選出されました。【任期：平成 27 年 4 月 13 日から平成 29 年 4 月 12 日まで】

【理事 12 名】		【評議員 25 名】	
会 長	大竹幸次郎	関川 俊逸	高松 美子
副会長	千山 誠一	勢田 康子	半田るり子
副会長	奥寺 文子	寺田 典子	尾埜進一郎
理 事	大竹 隆	丹野 義雄	京谷 時子
理 事	財津 茂実	工藤 久恵	大関 明
理 事	伊藤千恵子	若狭 勇	長尾 征昭
理 事	國下 豊潤	松本 道信	村岡 朗子
理 事	古木 節子	前田 悦三	清野 弘子
理 事	柴田 晴史	宮嶋 和子	佐藤 孝明
理 事	北見 辰雄	斎藤 辰	川又 修治
理 事	服部 満	藪下 義晴	服部 満
理 事	堀田 市雄	澤田 孝平	笠原 泰之
監 事	寺沢 久光	堀井しのぶ	
監 事	小島 威		

第三者委員が決まりました。

苦情解決において客観的な第三者の視点と、潜在化している利用者の声を吸い上げる役割として第三者委員に、2 名が選出されました。

「これは困った」「もっとこうしてほしい」などご意見をお寄せください。

第三者委員 寺 沢 久 光 電話：64-0043

第三者委員 小 島 威 電話：65-6532

社会福祉協議会会費に
ご協力ありがとうございました

七飯町に住む方々が力をあわせて地域の福祉のために活動し、この地域に必要なものを見出して助け合っているようになることを目指しています。その活動のための費用として社協会員会費が用いられています。

具体的には、町内会の福祉活動への補助、緊急医療情報キット「命のバトン」の無料配付等に使用されます。又、チャイルドシート、電動ベツド、綿あめ機、10人乗りワゴン車等の貸出し、町内会報等の印刷など地域に住み続けている方々の身近な活動のためにも使われています。

方に会員になっ
 福祉のため
 にお力を
 貸したい
 きたいま
 願っていま
 す。今後
 とうぞ
 しくお願
 いたしま

社協会員会費は
地域の福祉に役立つ
 貴重な財源となっております

個人会員	1,000円
個別会員	2,000円
特別会員	3,000円
団体会員	5,000円

個人会員	1,000円
個別会員	2,000円
特別会員	3,000円
団体会員	5,000円

平成26年度、会員会費を納めていただいた町内会と団体（企業）等をご紹介します。

本町中通り町内会
本町下通り町内会
七飯町中央親交会
本町和町内会
南本町町内会
本町西部町内会
仲よし町内会
正覚寺通り町内会
本町寿町町内会
本町駅前町内会
本町三百睡会町内会
桜岡地町内会
見晴町内会
本町上台町町内会
本町上台町町内会
ア力シヤ町内会
南本町第一町内会
本町町内会
本町中央町内会
本町高台町内会
公営桜岡地町内会
光陽団地町内会
西部鳴川町内会
鳴川中央町内会
飯川協和町内会
緑田町第一町内会
緑町町内会
桜町第1町内会
桜町第2町内会
桜町第3町内会

福)道南福祉ねつと
株マルエイ柴田土建
三木内科泌尿器科クリニク
デイサービス北陽
株グリーンオオモリ

太陽 西大 東大 軍川 吉野 大沼 大沼 大沼 中野 大川 松の 蒜沢 東大 北大 湯出 湯出 上湯 上湯 大川 大川 峠下 藤城 青葉 南藤 桜町
実 大 大 親 野 沼 沼 沼 野 美 木 沢 大 大 出 出 上 上 大 大 下 城 葉 藤 町
行 沼 沼 交 山 第 親 公 園 園 十字 沢 大 大 出 出 上 上 大 大 下 城 葉 藤 町
組 町 町 合 町 1 親 園 園 街 町 町 大 大 出 出 上 上 大 大 下 城 葉 藤 町
合 内 内 会 内 町 交 会 会 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町
合 会

ひよこクリニック
デイサービス小さな樹
丸山内科医院
力マタビルド(株)
望ヶ丘医院
(有)なかえ印刷
(有)アート伊藤運送
鳴川運送(株)
中水食品工業(株)
阿天狗堂宝船
アーク大隅(株)
(株)財津自工
(株)フレンドリーバ
(株)羽衣運輸
(株)ワタナベ電器
景雲寺
(株)沼の家
若松毛皮(有)
七飯町商工会
野畔の花
(有)山川牧場自然牛
創価学会
源林商店
(株)かわじり生花店
函館信用金庫七飯支店
すこやか調剤薬局
(有)ワイルド薬局
(株)藤田板金工業
(株)マルタツ庭設
(株)八晃建設
聖樹杜
(有)北海道新聞
原子販売所
新函館農業協同
組合七飯支店
(有)ヤマキ小売
藤建設工業(株)
つば八ななえ店
松栄建設(株)

湊商事(株)七飯給油所
あかまつ調剤薬局
(有)佐藤運輸
医士會舎なるかわ病院
(有)菓子鋪夢夢良
老健施設
あかまつの里ななえ
ただ調剤薬局
一般社団法人匠和
(株)久慈製作所
(有)みどり興産
(株)シンオリシマ
(有)七飯花自動車商会
(有)古館自動車サ
ビスセンター
林寺
明工房 蕎麦小屋
(有)田中清掃
(有)秋田建築板金
(株)ハル牛函館営業所
(株)七飯碎石工業
(有)石田時計店
正覚寺
北海道旅客鉄道(株)
七飯駅
(株)ツルハドラッグ七飯店
(株)順工商務店
(株)テルメななえ
ケアハウス豊寿
北海道福祉環境
センター(な菜)
乾鮮魚店
七飯パークゴルフ協会
はつぴー共生型ほーむ
ウェルネス薬局七飯店
伏見清掃(有)
(株)博善社七飯店
ななえ新病院
そば処ななえ大中山店
福)渡島養護老人
ホーム好日園
(有)毎日環境サービス
七飯福音キリスト教会

H 26 年度 4,759,000 円
H 25 年度 5,059,000 円
H 24 年度 5,150,000 円
H 23 年度 5,158,000 円

社会福祉協議会ではこの度、皆さまからいただいた会員会費で緊急連絡カードを500枚作成しました。

事件や事故、急な病気の際に慌てず落ち着いた行動をしていただくために、町内に住むおおむね65歳以上の希望者や障がい者世帯等に配布致します。

緊急連絡カードは以前にもありましたが、ここ数年希望者が増えてきたこともあり、現在のニーズに合わせたレイアウトに作り変えました。

身内や知人など、緊急連絡が可能な人の住所、氏名、電話番号を記載する欄のほか民生委員やケアマネジャーの連絡先、災害時の避難場所も記入できるようになっています。

社会福祉協
議会ではこれ
からも、住み
慣れた町で安
心して暮らせ
るようにいろ
いろな形で皆
さまの生活を
サポートして
いきます。



地域要援護者支え合い事業

今後、介護保険制度の見直しに伴って、ますます地域で支え合う力が求められ、重要になってきます。H26年度は51町内会が取り組み、昨年以上の実績となっており活動の輪が広がっています。今回も各町内会の活動報告内容の一部を紹介いたします。

「見守り活動」

◆友達訪問活動～30町内会が申請。

- ・最低月1回を目標に訪問活動を実施した。

- ・高齢者家庭及び身障者の一人暮らしの方へ声がけ訪問した。



大中山中央町内会
(見守り訪問活動の様子)

◆ひとり暮らし高齢者の安否確認運動～38町内会が申請。

- ・日常生活において普段との違いを察知するように努め、安全確認につなげるようにした。隣り近所の気配りを基本とした。

- ・日常顔を合わせた時、体調(身体)や困り事など聞く様にし、家の明りや郵便受等々、その都度確認した。

「交流活動」

◆ひとり暮らしの高齢者の方々とのお会食会の開催～24町内会が申請。

- ・「長寿を祝う会」において、75歳以上の高齢者を招待



松の木町内会(敬老会)

「福祉活動」

◆ひとり暮らしの高齢者宅の除排雪活動～36町内会が申請。

- ・保健師さんにきてもらい、血圧測定してもらい、健康の話をしたり、ゲーム等をして茶話会を開催した。

◆町内会館を利用したのふれあいサロンづくり。



アカシヤ町内会
(もちつき大会で交流の様子)

◆高齢者と子供の集いの開催～15町内会が申請。



大川美園町内会
(りんご狩りで世代交流)

- ・し、会食、カラオケ、ビンゴゲーム等をして町内会会員との親睦を深めた。
- ・ひとり暮らしの高齢者を含め町内会行事の一環として一緒に食事会を行った。



西大沼町内会(お祭りで交流)

- ・要援護者の除雪希望者を募り精査し、近隣の会員の協力支援を頂き、除排雪活動を行った。

「啓発・広報活動」

◆地域ごとの福祉だよりの発行～32町内会が申請。

- ・年13回の「町内会だより」の発行で、町内会のテーマの「健康寿命を延ばす」等の健康維持情報と振り込め詐欺等防犯情報、交流情報を周知した。

◆入浴・外出支援～22町内会が申請。

- ・観桜会、敬老観桜会で車いすを利用して、歩行不自由な高齢者のサポートと温泉地を組み込み入浴を支援した。



大沼第一町内会(清掃活動)

「健康づくり活動」

◆地域での軽スポーツの実施～18町内会が申請。

- ・町内会主催の「パークゴルフ大会」を行い、スポーツを通じての交流と健康づくりをした。



鳴川中央町内会
(パークゴルフで健康づくり活動)

◆介護実習活動～3町内会が申請。

- ・町保健センターの保健師を講師に「血圧知識・冬の健康管理」などの勉強会を開催した。



大中山中央町内会(介護教室)

お知らせ!!

H27年度、当事業申請を4月中旬から受付し、49町内会から申請されました。今年度、まだ申請されていない町内会や、追加申請で、冬の除雪等の申請がある場合、町へ提出する都合上、10月15日までには社協窓口へ提出の程宜しくお願ひします。

除雪機貸出事業

平成23年度より、七飯町が4年計画で除雪機を整備し、H26年度では22台所有となっております。申請のある町内会等に対して、ロータリー式・ハイブリッド式・ブレード式を16台貸出しました。降雪が少なかった等の事もあり、使用しなかった町内会は数か所ありましたが、有効に活用されました。

今年度についても冬場の除雪時には、高齢者宅等の通路確保のために利用して頂きたいと思っております。申請されなかった町内会についても、今年度、ぜひご検討ください。

輪が広がっています

七飯高校サッカー部とバレー部の22名が地域の高齢者に感謝の気持ちを伝えたいと節分を前にした1月31日、本町町内会、見晴町内会の協力を得て、恵方巻をお届けしました。ほとんどの生徒さんがボランティア経験がなく、初めに社協スタッフよりボランティアについて「普段あたりまえにとっている身近な行動のなかで、知らず知らずのうちにしているボランティアもあり、特別なことではない…」と説明があり、協力して下さった町内会の会長さんからは「毎日一緒に汗を流している仲間と今回ボランティアという形で協力することさらに



恵方巻きに感謝をいめい…
学生ボランティア入門体験 平成27年1月31日(土)実施



チームの結束が深まることでしょー」と労いの言葉をかけていただきました。

その後、思い思いのメッセージをカードに書き、みんなでラッピング。

まだ雪のちらつく寒空の中、町内会の役員さんに案内して頂き2町内会で計28名のお宅にいざ出発！

初めは「何を話そうかなあ？」「緊張する」と不安を隠せない様子の生徒さんも、温かい出迎えに次第に緊張もほぐれ、「いつまでもお元気で」「健康に気をつけて」「等々などそれぞれ感謝の気持ちにつけ、「サッカー部を宜しく！」と、思わず部活をアピールする生徒も：（笑）。

生徒さんから恵方巻を手渡された高齢者の方の中には、体の不調を訴える方や、「わざわざ来てくれてありがとう」と涙ぐむ方もおり、高校生と高齢者の交流に心が和みました。



今年は盲導犬に癒されました
ボランティア研修交流会
文化センター 平成27年3月31日(水)

今年は盲導犬協会から佐々木博紀氏を講師に招いて盲導犬や視覚障がいについてお話いただきました。

又、役場福祉課より梅川陽介さんにおいでいただき、ボランティアポイント事業の変更点等について説明していただき、改めて制度について確認しました。

そして午前中の締めくくりで、26年度ボランティア愛ランドの実践発表で『朗読ボランティア あゆみの会』岡田瑠美子さんにお話しいただきました。

午後は個人ボランティアさんとボランティア団体脳トレゲームや体を動かすゲームで交流を深めた一日でした。



研修交流会ゲーム



実践発表



歩行体験



盲導犬

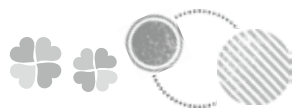


チビッコ雪まつり

今年も社協に登録しているボランティアさんが『チビッコ雪まつり』に参加してくれました。氷でできたジャンボ滑り台に宝探しとイベントは目白押しでした。他にも七飯レクリエーション協会さんが凧上げや的当てで盛り上げてくれました。七飯レクリエーション協会」はななえ近郊の町から被災地等の色々なところに出向き、クラフトを教えるから一緒に作ったり、レクリエーションを通して出会った人を笑顔にするボランティア団体です。

皆さんの願いが届き天候にも恵まれ、子ども達も大人の方もみんなが童心に戻って体いっぱい楽しんでいました。このようなイベントが長く続き、沢山増えてほしいと思いました。

チビッコ雪まつり
参加協力



ボランティア活動の



ボランティアポイント事業

2月より町内の介護福祉施設等での活動もポイント対象になり、受入れ施設として20事業所にご登録いただきました。
現在7施設で団体や個人ボランティアの皆さんが様々な活動をしておられます。



余暇活動で書道の指導



本の読み聞かせの後のコミュニケーションも忘れずに！



施設のレク活動（花植え）のお手伝い



入所者と笑顔で会話

ペンキ塗り

ペンキ塗り・設置事業

4月2日に参加者さんにも地域で利用される方にも待ちに待ったふれあいベンチペンキ塗りを行いました。ボランティアさんは10名ほど集まり、何度か経験している方は初めての方に教えながら塗っていました。

ボランティアさん達はペンキを塗る人、ベンチを修繕する人と別れて作業していると地元の新聞社から取材を受け、ペンキとは違つた。色に顔が染まって対応していました。

今年は皆様の要望にできるだけ

応えて全部で38脚設置しました。ベンチを設置した周辺の草を刈ったり、ゴミを拾っていただいたりと皆さんに大切にされつつ定着しているのが実感できました。今年度もボランティアさんと共にベンチ清掃を数回行いますので、その際要望等があれば声をかけて下さい。



ペンキ塗り

活動の輪が広がりました クリーンボランティア in 大沼

6月16日「大沼を愛する会」（代表 財津茂実）主催で、大沼公園駅周辺の歩道の縁や街路樹の植え込みの草刈りを行いました。

今年は数日前にボランティア登録をしたばかりで今回が初めてのボランティア活動という方1名を含む計6名の方に御協力をいただきました。

新幹線開通にあたり、観光客が増えることが予想され、大沼を訪れた方に気持ち良く楽しんで頂きたいという願いを込めながら、約1時間半汗を流しました。

途中差し入れをくださった町内会や大沼コンベンション協会様、大変ありがとうございました。

そしてご協力くださったボランティアの皆様、大変お疲れ様でした。



クリーンボランティア

登録ボランティア募集中

できることをできるときにする…
互いに支え合い学び合う…
思いやりの心からうまれる自然な…
自分のもっている

知識や技能を提供する…
強制ではなく自らの意志です…
そんな活動です。

お気軽にお問い合わせください。

七飯町ボランティアセンター

TEL 651-4903

チャリティ 第9回 赤い羽根 共同募金 ♪カラオケ歌合戦 & お楽しみ抽選会

多くの要望があり **12月開催から11月開催** に変更いたします。

と き 平成27年 **11月14日(土) 午後1時から** 入場券 《当日券》中学生以上 ¥800 / 小学生 ¥500
《前売り券》中学生以上 ¥500 / 小学生 ¥300
小学生未満は無料 (9月1日より発売開始)

ところ **七飯町文化センター** (パイオニアホール)

前売り券取扱所 七飯町社会福祉協議会、七飯町文化センター、大中山コモン、大沼婦人会館

出場者大募集 パイオニアホールでたくさんの観客の前で歌ってみませんか!

定員 14組 参加費 ¥500 (9月1日より受付開始)

- ① 七飯町在住、在勤の方で歌うことが好きな方であればどなたでも応募できます。
- ② 予選、決勝共に2コーラスまでです。
- ③ グループでの参加も可能です(参加費1組500円)。
- ④ JOYSOUNDを使用します。
- ⑤ 予選と決勝用の曲をそれぞれ2曲ずつご用意ください。
- ⑥ キーコントロールの変更も受け付けます。

カラオケ歌合戦

(勝ち抜き方式)

優勝～3位まで賞品

審査方法：会場来場者による投票

赤い羽根共同募金運動をより多くの方に知っていただき、誰でも楽しく赤い羽根共同募金活動に参加できるよう開催します。

赤い羽根共同募金チャリティーお楽しみ抽選会 **企業の景品等大募集!!**

お楽しみ抽選会の景品を提供していただける企業を募集しております。ご協力いただける企業については、当日のプログラム及び次回の社協ニュースにて貴社名を掲載させていただきます。

昨年度景品協力企業 (順不同、敬称略) **ご協力ありがとうございました。**

ななえ山本齒科 (株) 財 津 自 工 クロフォード・イン大沼 (株) ワタナベ電器会 (株) 七飯町商工大沼店 セブンイレブン七飯大沼 (株) 八 晃 建 設 (有) 三 木 科 医 院 (医) 宮 村 内 科 医 院 (医) 老人保健施設あかまつの里なえ 藤 建 設 工 業 (株) (株) ⑤ 岡 田 製 麵 ヤマトタカハシ(株)北海道昆布館 宝 宅 琳 フ ザ ー ム ホ テル函館ひろめ船 大沼合果樹園	こつつ(株)い (株) 金 見 電 (株) 天 狗 堂 宝 (株) シ ク ス 大 沼 (株) 加 藤 栄 好 函館信用金庫七飯支店 (有) み ど 建 設 松 栄 か ま つ 調 剤 薬 局 (有) 北海道新聞原子販売所 (有) マ ル タ ツ 庭 食 品 (株) プ ロ イ ハ ウ ス 大 沼	な ひ き 小 屋 ぼ 八 な な え し ま 謹 小 (株) 工 房 蕎 麦 病 い わ も と 動 物 院 ツ 見 電 器 (株) 金 見 電 器 (株) 天 狗 堂 宝 (株) シ ク ス 大 沼 (株) 加 藤 栄 好 函館信用金庫七飯支店 (有) み ど 建 設 松 栄 か ま つ 調 剤 薬 局 (有) 北海道新聞原子販売所 (有) マ ル タ ツ 庭 食 品 (株) プ ロ イ ハ ウ ス 大 沼	久保田牧場チーズ研究所 オーシャンコーヒー(株) (有) 大 沼 交 通 店 (有) 加 藤 工 務 園 (有) 七 飯 清 香 廉 珈 琲 専 門 店 茶 (有) ヤ マ キ 小 林 セブンイレブン渡島七飯店 (有) カ マ タ ビ ル ド 力 マ タ ビ ル ド (株) (有) か わ じ り 生 花 奥 村 み の 農 園 (有) 岡 田 ゴ 果 樹 園 (有) や 花 の あ し (有) こ だ て わ い (株) こ だ て わ い 菊 池 食 品 工 業	(有) 菓 子 舗 喜 夢 良 (有) か け が わ 不 動 産 (有) あ う ん 堂 そば処ふでむら大中山店 (有) 松 田 電 設 電源開発(株)北本連系電力所 (有) 古館自動車サービスセンター 七飯町障がい者通所授産施設 ぼぼろ館 三 嶋 神 社 (株) 乃 出 食 品 (有) 山 川 牧 場 自 然 牛 乳 (有) チャレンジビーフ大沼黒ペコ (有) 石 川 ア ル ミ 新函館農協同組合七飯支店 (株) 竹 相 運 送 建 設
---	---	--	---	--

七飯町共同募金委員会(社協)は、赤い羽根共同募金に500円以上募金した方に新幹線と駒ヶ岳、七飯特産のリングをあしらったピンバッジを配布しています。このバッジを共同募金と新幹線開業ムードを高めるPRとなるよう願っています。

取扱は社協窓口



北海道新幹線開業記念バッジ

七飯町限定!!



奥寺会長からは、今後とも協力していただきたいとおっしゃっていました。

5月27日、七飯町民生・児童委員協議会(会長 奥寺文子)は、渡島地方共同募金(会長 大竹幸次郎)より長年の募金活動の功績を讃えられ表彰を受けました。

民児協 平成27年度 渡島地方共同募金委員会より表彰

民児協表彰

生活福祉資金貸付の

ご案内

生活福祉資金貸付制度とは、厚生労働省の要綱に基づき、他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を目指すことを目的としています。

生活福祉資金を受けるには

1. まず、相談して下さい

生活福祉資金の貸し付けを希望する方は社会福祉協議会にご相談下さい。

生活福祉資金貸付制度では、貸し付けを通じた経済的支援と併せて、貸し付けを受けた世帯が生活を安定させ、立て直しが出来るようさまざまなお手伝いをします。

2. 借入申込書を提出する

資金の貸付を申し込むには、借入申込書と必要な書類をそろえ、社会福祉協議会に提出することが必要です。また、借り入れには、資金の種類によって連帯保証人が必要です。

貸し付けについては北海道社会福祉協議会で審査を行ないます。審査結果によっては、資金の貸し付けが出来ない場合もあり

ます。審査の結果は、本人に文書で通知されます。

3. 借入書を提出する

資金の貸し付けが決定したら、借入書に必要事項を記入し、本人と連帯保証人の署名・押印(実印)のうえ、印鑑登録証明書とともに、北海道社会福祉協議会に提出します。

生活福祉資金貸付制度について詳しく知りたい、利用について相談したい場合には、社会福祉協議会にお問い合わせください。

資金の種類		資金の目的
1. 福祉資金	福祉費	生業を営む為に必要な経費、病気療養に必要な経費、住宅の増改築や補修などに必要な経費、福祉用具等の購入経費、介護サービスや障害者サービスを受けるために必要な経費など
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用
2. 教育支援資金	教育支援費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに修学するために必要な経費
	修学支度費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに入学する際に必要な経費
3. 不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
	要保護向け不動産担保型生活資金	要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
4. 総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
	住宅入居費	敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要かつ日常生活費でまかなうことが困難である費用

●●●●● みんなで行う エコボランティア Q&A ●●●●●

多くの市民の皆様をはじめ、市内の学校や企業、団体様から沢山のリングブルやペットボトルの蓋(以下エコキャップ)を寄贈して頂きありがとうございます。今回は皆様が寄贈していただいた物についてQ & A方式で紹介させていただきます。

Q リングブルはどこに持って行って何になるの？

A 年に数回まとめて近郊のリサイクル工場に持っていき、福祉機器基金に積み立てます。その後に社協で車いすやチャイルドシート等の福祉機器を購入し、無料で貸し出しを行っております。因みにリングブルだけで車椅子を購入する場合には約1,250kg(ドラム缶およそ13本分)、チャイルドシートの場合、約600kg(ドラム缶およそ6本分)のリングブルが必要です。(平成27年6月現在)

Q エコキャップはジュース以外でも良いですか？

A 原則として飲料用ペットボトル以外(洗剤・調味料・金属・食品)のキャップはリサイクルできない場合があるので集めておりませんが、社協で企業に持っていき前に袋や箱に詰めなおす際に弾いております。なるべく水分やシールを取って、飲料用ペットボトルのキャップ以外は入れないよう協力をお願い致します。

Q いっぱい集めたのはいいけれど、どうすればいいの？

A 社協までご連絡下さい、こちらから引き取りに伺います。車等の手配もありますので日程調整させていただく場合があります。予めご了承下さい。



皆様から長年、多くのエコキャップ収集活動を続けていることに対して、ラッキーピエログループ代表の王一郎様と小さな親切運動代表の鈴木恒夫様から感謝状をいただきました。本当にありがとうございます。これからもエコキャップ収集活動のご協力をよろしくお願いいたします。

生活上の悩み・経済的な困りごとは おしまHOT(ほっと)かないセンターへご相談下さい

秘密
厳守

相談
無料

「相談受付」
午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

TEL 651-6280

七飯町本町5丁目1番6号アトラスビル1階

おしまHOTかないセンターでは悩み・困りごとをお伺いして、一緒に課題を整理し、解決プランをつくります。その後寄り添い支援や専門機関への橋渡しなどをする事により問題を解決し生活自立へと導きます。

周りで困っている方やご心配な方がいたら、お知らせ下さい。

まずはお気軽にお電話下さい。



「24 時間テレビ」から 「なかの苑」に移送車贈呈



3月9日、雪がすっかり溶け春の日差しと共に、24時間テレビからなかの苑に利用者さん用の10人乗り(車いす4台)キャラバンが贈呈されました。贈呈式にはテレビ局からも取材があり、その先には大竹会長が大きな鍵を受け取っている姿が映っていました。

2007年にも24時間テレビから移送用自動車が当選しました。これからも七飯町社会福祉協議会は皆様に安心で安全な運転を心がけて笑顔を運んでいきます。

大沼学園さん今年もありがとうございます

今年も大沼学園さんから沢山の花の苗を頂きました。

大沼学園では伝統的に花の苗づくりを行い、地域の町内会や大沼公園周辺、公共施設等に寄贈し、地域の方々の心の癒しになっています。

今回、七飯社協に250以上の苗をいただき、職員で地域センターの花壇に植えさせていただきました。地域センターを訪れたお客さんが花壇の前を通ると「キレイですね」と優しく微笑んでくれました。

色とりどりの花が咲いていますので、地域センターの近くを通った際にはぜひ見に来て下さい。



温かいご寄付ありがとうございました

皆様からの心の善意が1月28日から6月8日まで、総額265,278円となりました。

ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。

1月28日	七飯ロータリークラブ 様
3月2日	匿名 様
3月20日	古木 節子 様
3月20日	國下 豊潤 様
3月20日	函館方面遊技業協同組合 様
4月13日	國下 豊潤 様
5月18日	匿名 様
5月27日	古木 節子 様
6月1日	匿名 様
6月8日	クリオネディスコサークル 様



クリオネディスコサークル 様



七飯ロータリークラブ 様



函館方面遊技業協同組合 様

スタッフ募集!!



働きやすい職場で、やりがいのある仕事を一緒にしてみませんか?

●ヘルパーステーション「七飯社協」
登録ヘルパー若干名
準職員1名

●デイサービスセンター「なかの苑」
パート職員1名

未経験でも、自信を持って仕事ができるようになるまで、スタッフが親切に指導します。

資格ヘルパー2級以上の方で、町内在住の方
担当 事務局次長 岸 651-2067

多くの寄贈品ありがとうございました

(敬称は省略させていただきます)

使用済み切手、使用済みテレホンカード、リングプル、書き損じはがきなど有効に活用させていただきます。

読み聞かせサークルびよーん、本町地区民生委員児童委員協議会、介護者と共に歩む会、澤出一美、田中とし江、(株)村上建設、あかまつ調剤薬局、野澤商店、電源開発、(株)財津自工、北洋舎(株)クリーニング七飯工場、双六会、南幼稚園、松金ミキ、七飯町立七飯中学校、緑町金曜クラブ、藤城保育園、干山雅史、活動支援センターつばさ、奥津伸明・ひなの、ほんちよう保育園、紺野浩史、バソコンサークル、京谷時子、大沼保育園、テルメななえ、原久子、ケアハウス豊寿、緑町簡易郵便局、越後恵美子、大中山コモン、藤城長寿会、しおん会、中矢幹夫、田村敏郎、道南福祉ねっと、齋藤浩子、高橋瑞貴、白石久美子、松本経子、岡川、岩本美智子、羽衣会、岡本栄、久慈製作所、七尾豊、フェニックスコート、銀会、長山顕、渡部勝夫、あゆみの会、大沼米寿会、函館トヨタ自動車株式会社、佐藤孝治、(有)ハウジング坂本、豊田長寿会、ネットトヨタ道南株式会社、小林茂雄、シルバー人材センター、明和会、安藤 廣、斉藤洋子、七飯町手をつなぐ育成会、緑町長寿会、岡 勝江、南本町第一町内会、(株)ジェイデパイス、藤城長寿会、一戸義秋、傍の会、田中芳子、横津会、七飯町労連

福祉機器のご寄付

(平成27年1月14日から平成27年6月18日現在)

鈴木 光吉 様 福祉機器
名畑 照久 様 電動ベッド他
川村 都 様 福祉用具